



## 交流セッション①

### 3委員会合同セッション

(青年委員会・女性委員会・まちづくり委員会)

テーマ：「防災・減災まちづくり」

日時：10月24日(金)9:30-13:45

会場：ビッグパレットふくしま

定員：300名(予定)

#### プログラム：

9:30 開会挨拶

9:35-10:20

「現在の被災地状況」/青年委員会担当

10:25-11:10

「安全なくらし」/女性委員会担当

11:15-12:00

「防災の諸課題」/まちづくり委員会担当

12:00-12:45 休憩

12:45-13:45

3委員会合同パネルディスカッション



セッションイメージ(前回大会より)

## 「現在の被災地状況」

連合会青年委員会担当

福島県での全国大会開催にあたり、東日本大震災より3年が経った今、被災県がどのような復興の経過をたどっているのか、青年建築士の視点から「現在の被災地状況」を理解し、考えていく場を設けたいと考えます。また、建築士として一人ひとりが「防災」について改めて認識する機会となるよう企画して参ります。



セッションイメージ(前回大会より)

福島をはじめ、東日本大震災にて被災された建築士会メンバーもおられます。また、被災時当初から、復興に向け継続して行動されている方も多くおられます。その他、今回の震災を受け、異業種の方と新たに協力・情報交換を行っている被災地以外の建築士会メンバーも多く存在します。

このような情報を、今だからこそ集約し、今後の復興・防災に役立てるよう、青年建築士を中心に活動情報を収集・共有していく所存です。

同時に、われわれ青年建築士が日頃取り組んでいる活動の成果と情報の共有の場ということも考慮し、これからの建築士(会)がどのような発展を遂げられるかを協議しつつ、参加者が有意義となる場をめざします。

## 「安全なくらし」

連合会女性委員会担当

東日本大震災から3年が経過しましたが、現地報道に見られるように復興事業は遅々として進んでいないのが現状です。福島県は震災に加え、「原発事故」という大きな問題も抱えています。それは、放射能問題から

発生する風評被害、食物不安、そして家族離れ離れの生活など多くの問題を抱えています。そのような状況の中、住民はかつてのくらしを取り戻すための努力を重ねています。では、建築士として私たちは何ができるのでしょうか。

本セッションでは、福島県建築士会女性委員会と共同で、「子どもたちを守るため」「くらし」に着目し、現地の女性委員が取り組み始めた各種建築材料と放射能遮蔽効果の調査結果について報告します。本調査は、将来を担う子どもたち、そして人々の安全なくらしを守るための第一歩になると考えています。このような取り組みは、原発が多く存在する日本国内の環境では、くらしの安全を構築するために建築士に必要な情報であり、皆様と情報共有をしながらこれからの「安全なくらし」を考えたいと思います。

## 「防災の諸課題」

連合会まちづくり委員会担当

本セッションは、福島県建築士会との合同企画として、福島を中心にした「防災の諸課題」を考えます。

原発長期避難者、仮設住宅、その復興事業



セッションイメージ (前回大会より)

(高台移転/防災集団移転促進事業・土地区画整理事業・景観)、被災建物からの教訓、住宅自力再建、コミュニティ、防災対策活動などが議論のキーワードとして考えられますが、特に、原発被災者の帰還後の課題である「仕事の欠如、インフラの未整備」のなかでの暮らしの再生を取り上げて、考えたいと思っています。

そこでは、建築士会らしく、コミュニティに配慮した住形態(コレクティブやコーポラティブなど)のことや復興まちづくりの課題を整理し提案・提言することや、全国の諸事情にあわせた「防災」対策に取り込めるような内容も不可避と思っています。

何より、東日本大震災から3年経って「原発被害」の風化した状況を再想起することが建築士の社会的役割の基本と考えていきたいと思っています。

### 3委員会合同 パネルディスカッション

本セッションは、全国的に課題視されている「防災・減災・事前復興」がテーマです。また、青年・女性・まちづくりの連合会3実践

委員会が合同し、パネルディスカッション形式で行うことは、全国大会では初の試みです。目的は、3委員会共通のテーマ「防災」に対する「行動方針」を連合会実践委員会として、全国都道府県の各建築士会に発信する案を練ることにあります。

一言に、「防災・減災・事前復興」と言っても、被災を経験した地域、これから起こるであろう地域の思いや備えなどの取り組みはさまざまです。今回の全国大会は、東日本大震災被災地の「福島」ということもあり、議論する「場」を共有し、「防災」を考えてみたいと思います。特に福島は、東日本大震災による被害が大きかった岩手、宮城、福島の3県の中でも復興が遅れています。中でも、原発問題が「コミュニティの再生」の遅れを増長させています。原発避難者に「仮の町」に住むと説明がなされているところもあります。しかし、その「仮の町」から数十年で帰還できる人々もいるし、それ以上続く人もいます。

パネルディスカッションの中心は、コミュニティの再生の方策(3委員会共通の今後の方針)について、士会らしいもの(提案など)を探ってみようと思います。もし、「悩みの共有」くらいまでしか到達できないとしても、視点として重要と思えるからです。

## 交流セッション②

情報・広報委員会

情報部会交流セッション

(情報・広報委員会情報部会担当)

テーマ：「復興×防災×BIM」

——BIMに何ができるか

日時：10月24日(金) 12:30-15:00

会場：ビッグパレットふくしま3階小会議室

定員：150名(要申込み)

アメリカの8割近い建築技術者が活用するビルディング・インフォメーション・モデル(BIM)は、建物形状、空間関係、地理情報、建物部材の数量や特性が含まれ、建築物の生産性を向上させるツールとして、日本でも大手ゼネコンを中心に活用が広がっています。

住宅から複雑な建物まであらゆる形態の建物に関連した事業で利用され、立体的な表現が消費者にも直感的に伝わるため、土木工事やまちづくり、防災の分野でもその効果が期待されています。

本セッションでは、東日本大震災を経験し復興をめざす東北・福島の地において、復興にBIMが果たす役割、また、防災力向上にどのように寄与できるか、その効果や可能性を参加者が理解し、建築の新しい設計手法を学ぶ場としたいと考えます。

### 企業展示ブース

(出展企業による体験コーナー、ミニセッション等)

会場：3階ホワイトエ

10:00-15:00 申込み不要



企業展示ブース (前回大会より)



## 交流セッション③

(福島会双葉支部担当)

テーマ：東日本大震災からの

双葉郡の復興を考える現地視察(研修)

日時：10月25日(土)

8:00-17:30(郡山駅発着)

会場：Jヴィレッジ(広野町・楡葉町)

一富岡町内・大熊町内

定員：50名

形態：Aコース/20名 | 東京電力福島第一  
原子力発電所内の廃炉作業現場視察

Bコース/30名 | 大熊町一富岡町の被災地  
復興状況視察

昼食代：1,000円

(国の規制等の状況により変更の可能性が  
あります)

東日本大震災による津波被害で原子力発電所事故が発生し、突然の避難指示から3年が経過しました。双葉支部内の町村のほとんどは未だに帰還がはたせず、今なお多くの住民が避難生活を送っています。復興の緒に就くまでに程遠い町村も多く、特にバリエードで閉ざされた帰還困難区域では3年前の3月11日から時間が止まっています。しかし、このような状況の中でも、復興への一歩は間違いなくスタートしています。

本セッションでは、廃炉作業を進めている福島第一原子力発電所構内の現況や、除染作業、インフラ整備等を行っている地域を視察していただき、多くの建築士の皆さんと情報を共有し、まだまだ続く復興に向けての意見交換を行いたいと考えています。

## 情報発信セッションⅠ

テーマ：「建築士のたまご達」

日時：10月24日(金) 10:00-16:00

会場：1階ホワイエ/情報発信ブース

将来、建築士をめざす高校生の作品紹介。「建築・絆・再生」のテーマのもと、「ふくしま」の復興へ、思いを一つにがんばる現役高校生のナマの声を伝えたい。若き勇者とともに時間の経過で薄れゆくことのない、忘れ去られることのない「共通のなにか」に耳を傾けてください。

## 情報発信セッションⅡ

テーマ：「震災復興の現状」

日時：10月24日(金) 10:00-16:00

会場：1階ホワイエ/情報発信ブース

2011年3月11日午後2時46分、忘れることのできない記憶。そして今、復興への道を一步一步踏みしめる東北。その歩みは遅くとも、着実に一步一步復興へ向かって着実に歩みを進める。

私たち東北三県の現状をご覧ください。そしてともに考え、語りましょう。未来の形を!!

## 第2回 全国ヘリテージマネージャー大会

(全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会担当)

テーマ：ヘリテージマネージャーと各地のネットワークによる先進的な取り組みと活動

日時：10月24日(金) 10:00-12:00

会場：ビッグパレットふくしま3階中会議室  
定員：100名

昨年10月、第1回の大会が開催され、ヘリテージマネージャーのあるべき姿や今後取り組むべき課題が議論されました。今回の大会では、この1年の間に各地で取り組まれてきた先進的事例並びに事務局である建築士会連合会に置かれたタスクフォースによる支援活動を紹介し、ヘリテージマネージャーの社会における役割や、その必要性に対する認識を高めたいと思います。

